

## 入湯税の徴収実績等について

令和7年度第2回観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議において、宿泊税の課税要件を検討するにあたり、入湯税の徴収実績等を確認する必要があるという意見があったため、特別徴収義務者の件数、徴収実績等を調査したものの。

### 1 特別徴収義務者

#### (1) 件数（令和6年度）

|    | (A)<br>旅館・ホテル                | (B)<br>寮・保養所 | (C)<br>日帰り温泉 | 合計  |
|----|------------------------------|--------------|--------------|-----|
| 件数 | 284<br>うち簡易宿所(51)<br>うち民泊(3) | 132          | 12           | 428 |

#### (2) 捕捉方法

|      |                                                            |
|------|------------------------------------------------------------|
| 民泊以外 | 小田原保健福祉事務所から、「旅館業法に基づく許可施設一覧」及び「温泉利用許可施設一覧」を入手し、対象施設を抽出    |
| 民泊   | 消防法令適合通知書と引き換えに税務課を含めた各所管課のチェックを受けた民泊チェックリストにより、事前に対象施設を補足 |

※許可施設一覧にない施設、チェックリスト未提出の施設について、「温泉が利用されているのではないか」等の情報提供があった場合は、ホームページ等を確認し、実態を把握したうえで、温泉利用の許可権者である小田原福祉事務所に通報し、対応を依頼しています。

また、入湯税経営開始申告書の提出について周知を徹底するために、小田原保健福祉事務所と連携して申告を促しています。

#### (3) 不申告施設（令和7年8月現在）

4件／428件（0.9％）

※不申告者には加算金を課すとともに、申告指導を行うなど未申告が生じないように粘り強い催促を実施しているもの。

### 2 徴収実績

| 項目  | R4        |         | R5        |         | R6        |         |
|-----|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|
|     | 現年度分      | 滞納繰越分   | 現年度分      | 滞納繰越分   | 現年度分      | 滞納繰越分   |
| 調定額 | 554,892千円 | 6,174千円 | 625,468千円 | 6,749千円 | 647,977千円 | 7,233千円 |
| 収入額 | 553,909千円 | 219千円   | 624,390千円 | 553千円   | 646,562千円 | 255千円   |
| 徴収率 | 99.82%    | 3.54%   | 99.83%    | 8.19%   | 99.78%    | 3.53%   |